

---

## 19 AHCC の糖尿病に対する臨床・ 基礎的考察

○岩本 光存欣<sup>1)</sup>、小砂憲一<sup>2)</sup>、三浦健人<sup>2)</sup>  
医療法人 延山会<sup>1)</sup> (株)アミノアップ化学<sup>2)</sup>

### 【目的】

AHCC は担子菌抽出物であり、免疫賦活作用があることが知られている。しかし、そのメカニズムは多面的であり、生活習慣病などの疾患に対する症例なども報告されている。そこで今回、AHCC の糖尿病に対する有効性を明らかにするために、臨床・基礎の両面から検討した。

### 【方法】

**臨床検討：**糖尿病患者で AHCC (3g/day) を 6 カ月以上服用した 13 症例について、随時血糖、グリコヘモグロビン A1C の推移を主な指標として解析を行った。

**基礎検討：**Wister ラット (6W♂) にストレプトゾトシン (450mg/kg.i.v) を投与し、I 型糖尿病モデルとした。あらかじめ AHCC (3% 溶液) を飲ませた群とコントロール群について一般状態、血糖値、膵島細胞等の比較を行った。

### 【結果・考察】

**臨床検討：**全体を通して、血糖値が低下する傾向にあり、320→117 まで低下した症例も認められた。さらに血糖値の低下が認められなかったにもかかわらず、グリコヘモグロビン A1C が低下した興味深い症例も認められた。

**基礎検討：**AHCC を投与した糖尿病モデルラットは、血糖値の低下、インスリンの分泌、膵島細胞破壊の防止などが確認された。

これらの結果より、AHCC 効果のメカニズムのひとつとしてインスリンの分泌促進、膵島細胞の保護などにより糖尿病を改善させ、さらにグリコヘモグロビン A1C 値を低下させることにより糖尿病性合併症の予防が期待できることが示唆された。